

地域医療支援病院業務報告書

令和元年10月 3日

山口県知事 様

郵便番号 759-6603

報告者 住 所 山口県下関市安岡町8-5-1

氏 名 社会福祉法人恩師財団済生会支部

山口県済生会下関総合病院

院長 津江 和成

(電話 083-262-2300)



下記のとおり平成28年度の業務について、医療法第12条の2第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

名 称	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 山口県済生会下関総合病院											
所 在 地	山口県下関市安岡町8丁目5番1号											
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計	
	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床
	169	373	0	0	0	0	0	0	0	0	169	373
地 域 医 療 支 援 病 院 の 法 定 施 設	区 分		構 造 設 備 の 概 要									
	集 中 治 療 室		主な設備 【別紙1】									
	化 学 検 査 室		主な設備 【別紙2】									
	細 菌 検 査 室		主な設備 【別紙3】									
	病 理 検 査 室		主な設備 【別紙4】									
	病 理 解 剖 室		主な設備 【別紙5】									
	研 究 室		主な設備 【別紙6】									
	講 義 室		室数 2 室		収容定員 300人、100人							
	図 書 室		室数 1 室		蔵書数 8,000冊							
	救急用又は患者 輸送用自動車		主な設備 折りたたみ式ストレッチャー、酸素ボンベ [患者輸送車] 保有台数 1 台									
	医薬品情報管理 室		専用室の場合		床面積 27.7m ²							
			共用室の場合		室と共用							



紹介患者 に対する 医療提供 等	初診患者数 ①	紹介患者数 ②	逆紹介患者数 ③	地域医療支援 病院紹介率 $\frac{③}{①} \times 100$	地域医療支援 病院逆紹介率 $\frac{②}{①} \times 100$
	12,324人	8,080人	13,729人	65.56%	111.40%
【別紙7】	算定期間	平成30年4月1日から平成31年3月31日 まで			
共同利用	共同利用の実績		【別紙8】		
	共同利用の範囲		CT・MRI・PET・RI・骨塩定量/病床		
	共同利用について 定めた規程の有無		有 ・ 無 【別紙9】		
	利用医師等登録制 度の担当者		職種	事務職 企画・建設対策室 課長	
		氏名	青木 貴大		
登録 医療 機関	名 称	開設者の氏 名又は名称	開設者の 住所又は 所在地	主たる 診療科 目	報告者との 経営上の 関係
	【別紙10】				
常時共同利用可能な病床数		7 床			

		職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考	
						常勤・非常勤	専従・非専従	
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
					非専従			
					非専従			
	重症救急患者の受入れに対応した医療従事者			常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
救急医療の提供	重症救急患者のための病床	優先的に使用した病床		18床				
		専用病床		7床				
	重症救急患者に必要な検査又は治療を行った診療施設	区分	床面積	設備の概要		24時間使用の可否		
			m ²					
				【別紙12】				
		重症救急患者を24時間体制で受け入れた診療科目	内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、消化器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科					
		救急病院の認定状況及び救急医療の実施状況	救急告示病院、病院群輪番制参加病院、小児救急医療拠点病院					
	救急医療の提供の実績	救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	3,374人 (うち入院を要した患者の数 2,098人)					
その他の救急患者の数		4,929人 (うち入院を要した患者の 1,079人)						
計		8,303人 (うち入院を要した患者の数 3,177人)						

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修	研修内容					
	研修実施回数	【別紙13】				回
	研修生の数	【別紙13】				人
	研修プログラムの有無	○有 ・ 無 【別紙14】				
	研修委員会の設置の有無	○有 ・ 無 【別紙15】				
	研修指導者	氏名	職種	診療科目	役職等	臨床経験年数
		(教育責任者)				
		(その他)	【別紙16】			
	研修を実施した施設	区分	床面積	設備の概要		
		講堂	433.79 m ²	プロジェクター、電動スクリーン、音響設備、大型液晶モニター2機、ノートパソコン、ブルーレイレコーダー、ビデオカメラ		
会議室		72.879 m ²	プロジェクター、電動スクリーン、大型モニター、音響設備、記録装置、ノートパソコン			
小会議室		41.852 m ²	プロジェクター、スクリーン、パソコン、シャーカステン			

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	管理担当者の氏名	責任者	医事課長 田中 智憲、 事務長兼 総務課長 廣澤 和智	
		その他の担当者	医事課副参与 大寺 由美子、 総務課係長 高田 良司	
	診療に関する諸記録(病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)	保管場所	医事課並びに保管庫	
		分類方法	記録別患者別	
	病院の管理及び運営に関する諸記録	区分	保管場所	
	共同利用の実績	医事課病診連携室		
	救急医療の提供の実績	医事課		
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課		
	閲覧実績	医事課		
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類	医事課病診連携室		
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	閲覧担当者の氏名	責任者	医事課長 田中 智憲、 事務長兼 総務課長 廣澤 和智	
		その他の担当者	医事課副参与 大寺 由美子、 総務課係長 高田 良司	
	閲覧場所	医事課・総務課		
	閲覧手続	診療録は、医事課に備え付けの「カルテ閲覧申込書」に必要事項を記入する。		
	閲覧件数	医師	0 件	
		歯科医師	0 件	
		地方公共団体	0 件	
その他		0 件		
計	0 件			
医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催	開催回数	4 回		
	委員会における議論の概要	平成30年4月・8月および平成30年2月に書類会議を行ない、地域医療支援病院として当院に求められる役割等についてのご意見を拝聴した。また、同3月には、拝聴したご意見に対する対応や、生活困窮者に対する取り組み、研修会等を通じた開業医との連携への取り組みについて報告し、今後の地域医療支援病院としての取り組みについて協議した。		

(第6面)

患者相談	患者相談を行う場所		医療相談室
	主 な 担 当 者		【MSW】森脇 千夏、藤田 裕美、河津 真希、 阿南 利菜 【看護師長】首藤 悦子
	相 談 件 数		【別紙17】
	相 談 の 概 要		【別紙17】
その他の 地域医療 支援病院 に求めら れる取組	病院の機能に関する評価	評 価 の 有 無	○ 有 ・ 無
		評 価 を 行 っ た 機 関 名	(公益財団法人) 日本医療機能評価機構
		評 価 を 受 け た 時 期	2017年2月
	病院の果たしている役割に関する情報発信	情 報 発 信 の 有 無	○ 有 ・ 無
		情報発信の方法及び内容	・ホームページの開設。 ・院外広報誌「ふくふく」の発行。
	退院調整	退 院 調 整 部 門 の 有 無	○ 有 ・ 無
		退 院 調 整 の 概 要	各病棟で作成されるスクリーニングシートより退院困難な患者を抽出し、看護師とMSWが協力し、退院に向けた支援を行っている
	地域連携の促進	地域連携クリティカルパスの策定の有無	○ 有 ・ 無
		地域連携クリティカルパスの種類及び内容	大腿骨頸部骨折、脳卒中、COPD
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組の概要		合同作業部会を開催し、データ集計の方法や症例報告について、協議を行った。	

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とする。